

勝利の関門大々拓いた労組

1人の脱落もなく 第2波スト・39日間順法 高き確信、勝ちとり 前へ決戦3波



日刊 動労千葉

86.3.12

2189

No.

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（公衆）〇四七二（22）七二〇七

「3・8 動労千葉第二波闘争総括集会」は、市民会館に三六〇名の組合員が参加して開かれ、第二波闘争が切り拓いた大きな成果のうえに、分割・民営化―十万人首切りを粉々に打ち砕くための組織強化をつくりあげ、家族ぐるみ闘いぬく方針を全体で確認し、大成功をかちとった。

「動労千葉につづく」 国労の仲間が決意表明

集会は、ホールを埋めつくす組合員の結集をもって、十八時十五分、吉岡執行委員の開会宣言によりはじまった。

最初に、成田用水決戦のさなかからかけた三里塚・芝山連合空港反対同盟の北原事務局長は、動労千葉の第二波闘争をたたえ、「労農連帯を堅持して闘えば必ず勝利する。3・30全国集会に大結集を」と呼びかけた。

つづいて、「61・3ダイ改」と組織をあげて闘いぬいた動労千葉の第二波闘争に、国労指導部の屈服―無方針を弾劾しつつ共に決起し闘いぬいた国労東京、国労千葉の仲間が割れるような拍手をあげて登壇し「動労千葉の闘いにつづき、十一月にむかう過程で必ずや国労の決起を実現する」との固い決意を表明した。

中野委員長が勝利の総括

集会の基調は、中野委員長が提起した。中野委員長は「三九日間の第二波闘争を打ちぬいた組合員に敬意を表すとともに、この意義を全体で確認し、次の闘いの出発点にしたい」としたうえで、第二波闘争の成果として、第一に、あらゆる反動攻撃をはねのけ、一人の脱落もなく闘いを貫徹したこと。第二に、敵の攻撃の狙いを打ち破って国労との共闘体制をつくりあげ、この過程で三名の国労組合員が結集したこと。第三に、分割・民営化の政治的狙いを暴露し、中曽根の策動を打ち破ったこと。第四に、二カ月間の

闘いをやりぬくことをとおして、対当局との優位な力関係をつくりあげたことについて具体的に提起した。

中野委員長は、動労千葉の第一波、第二波闘争によつて、分割・民営化の基盤が音をたてて崩れており、粉碎するカギは、国鉄労働者が不退転の決意で闘うことであるとし、当面する方針について、①業務移管にかかわる抗議行動の展開、②無協約下の「ダイ改」について、スキをついた反撃の闘い、③広域配転問題へのあらゆる戦術を駆使した闘い、④労革マルの組織破壊を粉碎する闘い、⑤木原線廃止をめぐる勝浦の統廃合を許さぬ闘いの展開により、十一月ダイ改Ⅱ八万人合理化を阻止しようと結んだ。

自信にあふれた 支部代表決意表明



勝浦支部長 鶴岡



館山支部書記次長 小沢

集会の最後に、各支部代表の決意表明が行われた。

成田支部大須賀書記長、千葉転支部内山書記長、津田沼支部重見副支部長、銚子支部上野執行委員、館山支部小沢書記次長、勝浦支部鶴岡支部長は、第二波闘争を打ちぬいた自信と確信も固く、組合員一丸となって闘う決意を表明した。

集会は、山口副委員長の団結ガンバロ―をもって大成功のうちを終了した。



執行委員 上野 銚子支部